

いきいき マイタウン

まちで起こった出来事や気になるあの人を紹介します



ロウバイ（いなべ市農業公園梅林公園）

動く店舗で特産品をPR



軽トラックで表参道へ

市は、地域の事業者と協同で、1月8日（土）～16日（日）の9日間、東京都港区の青山通りでアパレル会社のイベントに出店しました。モバイルヒュッテで石樽茶と「お茶のぶさんのかりんとう」をPR。石樽茶を試飲した人は「三重県がお茶どころとは知らなかったが、甘くておいしい」と驚いていました。



試飲でおいしさをPRする大安町茶生産組合の伊藤典明さん

全国の舞台で躍動

バスケットボール日本一



1

中学生の日本一を決める第2回全国U15バスケットボール選手権大会に市内在住の蛭薙実柚さん（四日市メリノール学院中学校3年）が出場し、見事優勝しました。蛭薙さんは、小学2年から市内のミニバスケットボールチームに入り、中学は市外の強豪校に進学しました。

優勝を振り返り、「昨年に続き、2連覇を達成できてうれしかったです。高校でも活躍できるようになりたい」と意気込んでいました。



2

1.「プレー中、笑顔を保つことを心がけている」という蛭薙さん。夏の全国も制し、1年で2冠 2.メダルをかけてニコリ

ふじわら保育園

園庭で「おには～そと！」



迫力満点の黒鬼、赤鬼、青鬼

2月3日（木）に、ふじわら保育園で節分に合わせた豆まきが行われました。園庭に入ってきた鬼を見て泣き出す園児の姿も。園児と会うことを楽しみにしていた鬼は、4、5歳児と遊ぶことに。園児と遊んだ鬼は帰りたくないという怒り出し、先生を連れ去ろうとしました。園児たちは豆に見立てた丸めた新聞紙で、いっせいに豆まきをして、鬼を追ひました。



みんなで豆まき。鬼にめがけて「えい！」

地域の交流の場がオープン

いなこねチャレンジショップ

いなこね

1月23日（日）、北勢町阿下喜にいなべ子育てネットワーク（いなこね）による地域の交流拠点「いなこねチャレンジショップ」がオープンしました。いなこねは、これまでに地域の子育てを応援するために、フリーペーパーを発行したり、子ども食堂を運営したりと熱心に活動してきました。活動の拠点を探す中で、空き家だった物件を使わせてもらえることになり、30人のボランティアとともに約1年かけて準備しました。ショップは手作り雑貨の受託販売のほかに、レンタルルームも併設。今後は、ワークショップなども開催する予定です。

代表の服部純子さんは「気軽に立ち寄って、交流が生まれる場になれば。幅広い世代がチャレンジする姿を応援したい」と話していました。



1. 雑貨が並ぶ店内 2. 外観 3. いなこねの運営メンバー

1つの建物に3つの個性が集結

メゾンヒガシマチ

1月23日（日）、北勢町阿下喜で元地域おこし協力隊の帖佐真之介さんが空き家を活用して、仲間とともに「メゾンヒガシマチ」をオープンさせました。1年かけて改修した建物に、コーヒー豆の販売店、写真館、本屋の3店舗が入り、それぞれが営業を行います。

写真館を営む浦田貴秀さんは「地域の人々の写真を残したくて、ここで写真館を開きました。仲間と協力して面白い空間を持つ姿が伝わり、次世代につながっていけばうれしい」と、本屋を営む山下佳苗さんは「地域の人にアートや本に興味を持ってもらいたい」と期待を込めました。

同日に2つの店がオープンした阿下喜。まち歩きが楽しくなりますね！



1. メゾンヒガシマチの前に並ぶ3店舗の店主ら。帖佐さん（中央）は「空きスペースがあり、仲間を募集中です」 2. 写真集やアートの本が並ぶ店内

congratulations!

宮大工 渡邊敏文さん



渡邊さんは、「神社やお寺の建物は歴史を重ねてだいたい古くなっているの、直せるものは協力していきたい」と、地域への恩返しの気持ちを話しました。

1月12日（水）、宮大工の渡邊敏文さんが今年度の卓越した技能者として「建設の職業等の部門」で厚生労働省大臣表彰を受けたことを市長に報告しました。

ランチサービス若葉



ランチサービス若葉が令和3年度ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰を受けました。

メンバーのみなさんは、「多くの人の協力で活動を続けてこられた。感謝の気持ちをもって、これからも頑張っていきたい」と話していました。